

川中島合戦戦国絵巻進行計画

時 間	進 行 内 容	音声・効果	会 場	備 考
9:00	集合 武具着付け 記念撮影（準備が出来た隊から）		武田軍＝石和北小 上杉軍＝石和南小 鉄砲隊＝石和南小 報 道＝市役所3階	着付けは、高津装飾 世話役は、市役所職員 アドブレーション社 市役所3階 写真は写真業者
11:00	リハーサル		北小・南小それぞれの のグラウンドにて	指導はアドブレーション社
11:00	戦国体験コーナー		本部テント付近	
11:45	忍者演舞(1回目)	生演奏	仮設舞台	
12:00	昼食		北小・南小それぞれの のグラウンドにて	
12:30	忍者演舞(2回目)			
12:35	集合・武具隊列確認		北小・南小それぞれの のグラウンドにて	赤忍者の指示による
12:45	上杉軍 出陣パレード 石和南小～町内～合戦会場		合戦場最終チェック 演出スタッフ配置	先導は忍者が行う 上杉軍の後部に鉄砲隊 武田軍は、上杉軍・鉄砲隊の 後部に合流する
12:50	武田軍 出陣パレード 石和北小～町内～合戦会場 開式の儀 ●代表理事あいさつ ●来賓紹介		出陣の狼煙 忍者 誘導 本部テント	山内煙火店
13:10	上杉軍の入陣 柿崎隊から27将・安養院・謙信公 ～鉄砲隊 武田軍の入陣 風の軍団～林の軍団～火の軍団～ 山の軍団～信玄公本陣～湖衣姫隊 武将隊の入陣	効果音 軍奉行 太 鼓 解 説 むかで衆 演技	上杉軍・武田軍は、 中州の本陣に配置	上流側－上杉軍 下流側－武田軍 信玄公・謙信公・安養院・湖 衣姫は特設舞台上に入陣 武将隊 配置図A参照
13:30	上杉・武田軍 布陣完了	効果音終了	武者は所定の位置	配置図A参照
13:40	古式武道奉納「火縄銃」 1人2発	解 説	武田軍から上流に向 かって	山形県米沢市 米沢藩稲富流砲術隊
13:55	軍議	解説 山本勘助役 信玄公演技 あり	むかで衆	
14:00	三献の儀	解 説 軍奉行、笛 戦勝願文 信玄公セリ フあり	むかで衆	

時 間	進 行 内 容	音声・効果	会 場	備 考
14:05	武てい式 (五沾水の儀)	解 説 軍奉行 太 鼓 謙信公セリ フあり	むかで隊 上杉軍の前方にて	配置図A参照
14:15	合戦合図の太鼓	解 説 太 鼓	武田軍…鶴翼の陣 上杉軍…車がかりの陣	
14:20	合戦 (1) 車がかりの戦法 火縄銃発砲 上杉・武田に分かれ1人1発ずつ	軍奉行 解 説 効果音 ホ ラ ド ラ	武田軍…火以外の隊 上杉軍…全軍が合戦 北川六信会 火縄銃は2手に 図B参照	高坂軍 (大将旗持ちも一緒) を先頭に、火の6軍団は仮橋 から鶴飼橋を渡り、対岸の河 川敷で待機・忍者が誘導 火縄銃発砲後、合戦開始 かがり火に点火 (忍者) 陣幕裏の木に点火 (消防団)
14:30	合戦 (2) 上杉謙信、単騎にて信玄に三太刀あ びせる 山本勘助が謙信を追いかけ切りかかる	解 説 効果音 軍奉行	武田軍元の位置に 久世七曜会 図B参照	久世七曜会 影 上杉謙信 影 山本勘助
14:40	合戦 (3) 火縄銃発砲 合戦殺陣 上杉・武田に分かれ1人1発ずつ	解 説 軍奉行 効果音 ホ ラ ド ラ	合戦 (3) は専門集 団のみ 火縄銃は2手に	久世七曜会 北川隊、川沿いのみで 図B参照
14:50	合戦 (4) 騎馬戦 馬6頭で行う	解 説 軍奉行 効果音 ホ ラ ド ラ 太 鼓	久世七曜会 北川六信会	北川隊、川沿いのみで 図B参照
14:55	合戦 (5) 魚鱗鶴翼の戦法 火縄銃発砲・不発処理と1発残して おいた6人が2手に分かれて 合戦 (5)-2 総力戦	解 説 軍奉行 効果音 ホ ラ ド ラ	火縄銃は2手に 武田軍・上杉軍全軍 図B参照	火縄銃発砲後、合戦開始 騎馬が引き下がったら高坂軍 を先頭に火の6軍団は待機場 所から、武田本陣の前に合流 ・アドブレーション社誘導
15:10	勝ち鬨	効果音 ピンマイク	武田軍・上杉軍の順 で	
15:15	鎮塊 (かぶら矢)		弓隊上流に向かって	忍者・食紅
15:20	合戦謝辞 豊臣秀吉による合戦批評	センターマ イク	仮設舞台上	誘導…忍者
15:25	武田・上杉軍帰陣開始	効果音 終了AN		信玄・謙信ら重臣たちは階段 で記念撮影に応じるため残る 北小・南小で武装解除
15:30	武将と記念撮影会		本部テント付近	
15:40	終 了			鎧は、16時までにはずし 片付けを16時から始める